

2017年12月期（第39期）
第2四半期決算説明資料

⑦ 株式会社 小田原エンジニアリング
2017年8月10日



ODAWARA ENGINEERING CO., LTD.

○経済の動向

《我が国の経済》

- ・ 設備投資や生産、輸出の持ち直し
- ・ 企業収益や雇用情勢の改善
- ・ 全体として緩やかな回復基調が続いた

《世界経済》

- ・ 中国…各種政策効果もあり持ち直しの動きがみられた
- ・ 米国…景気は着実に回復が続いた
- ・ 欧州…景気は緩やかに回復
- ・ 全体…全体として緩やかに回復

《営業成績》

(単位：百万円)

指標	実績	前年同期比	増減要因
売 上 高	4,418	22.5%減	➤ 国内外で積極的な営業活動を展開 ➤ 生産活動は概ね計画どおりに推移
営 業 利 益	53	90.7%減	
経 常 利 益	69	87.9%増	
親会社株主に 帰 属 する 四半期純利益	1,162	134.5%増	➤ 投資有価証券売却益を特別利益に計上など

○連結セグメント業績概要

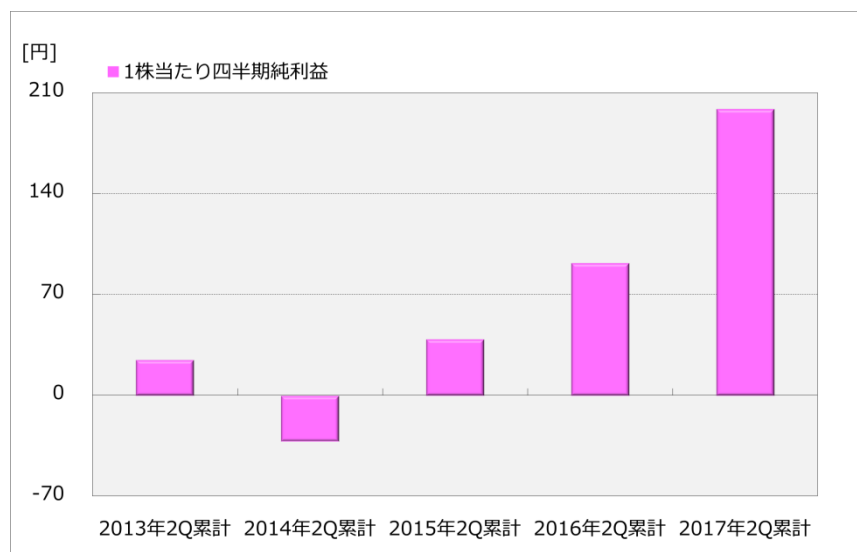
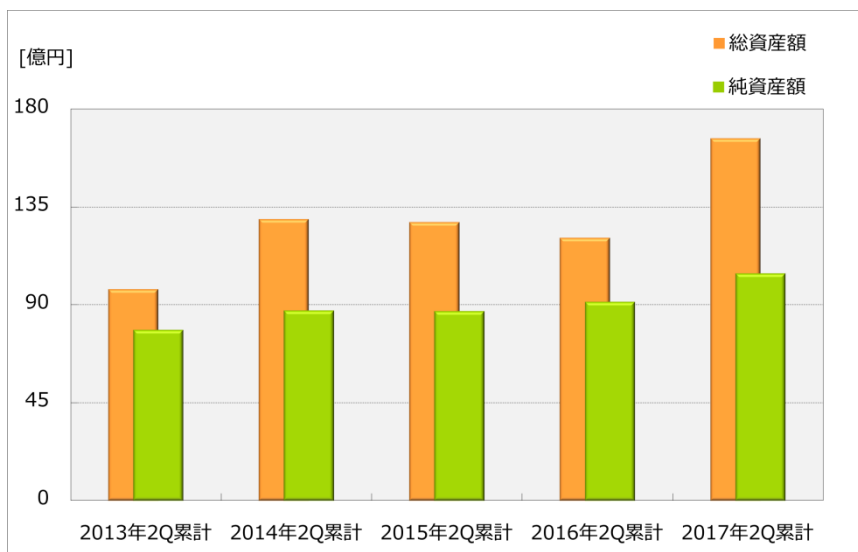
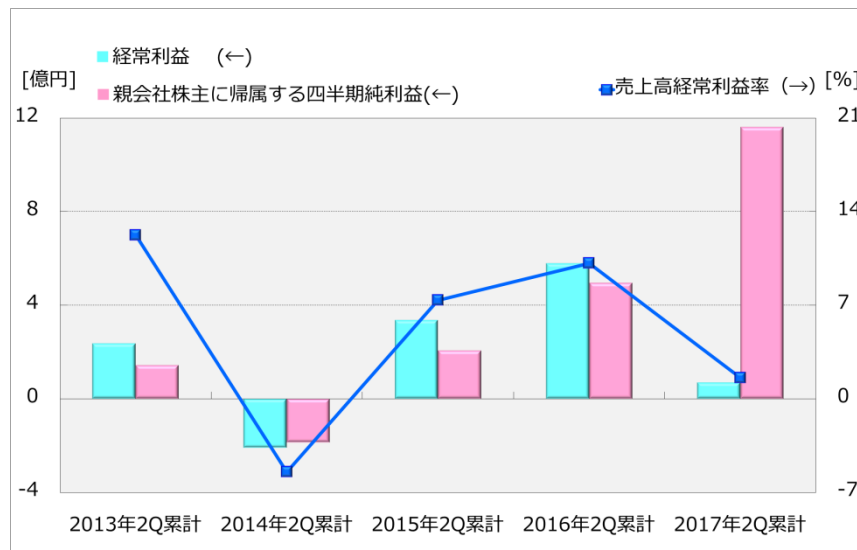
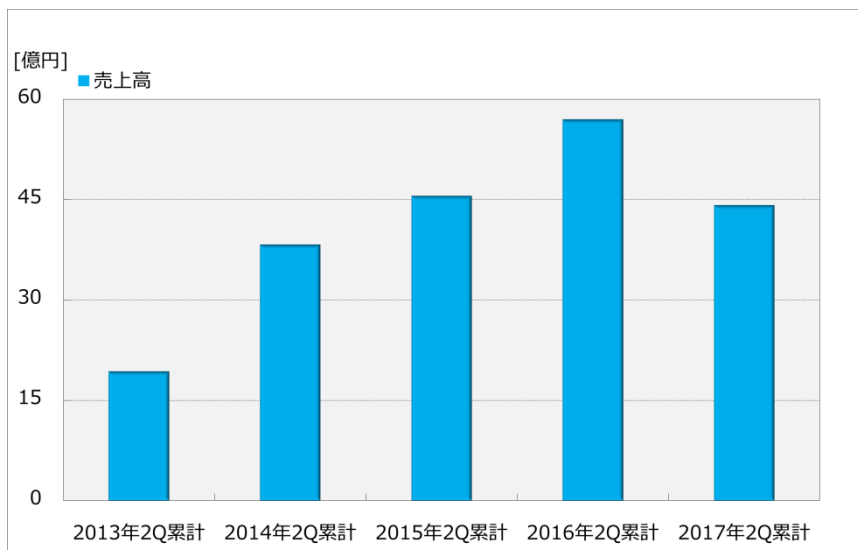
《セグメントの業績》

(単位：百万円)

セグメント	実績	前年同期比	増減要因
巻線機事業	売上高 2,305	35.0%減	➤ 生産活動は概ね計画どおりに推移 ➤ 一部の売上が第3四半期以降にずれ込む
	セグメント 利益 182	62.7%減	➤ 大型案件の売上を第3四半期以降に見込む
送風機・住設 関連事業	売上高 2,113	10.6%増	➤ 送風機事業が順調に推移 ➤ 産業用ロボットやスマートフォン向け当工作機械関連向けの軸流ファン需要が引き続き回復
	セグメント 利益 34	—	➤ 浴室照明器具が堅調な受注を維持

※送風機・住設関連事業における前年同四半期は27百万円のセグメント損失

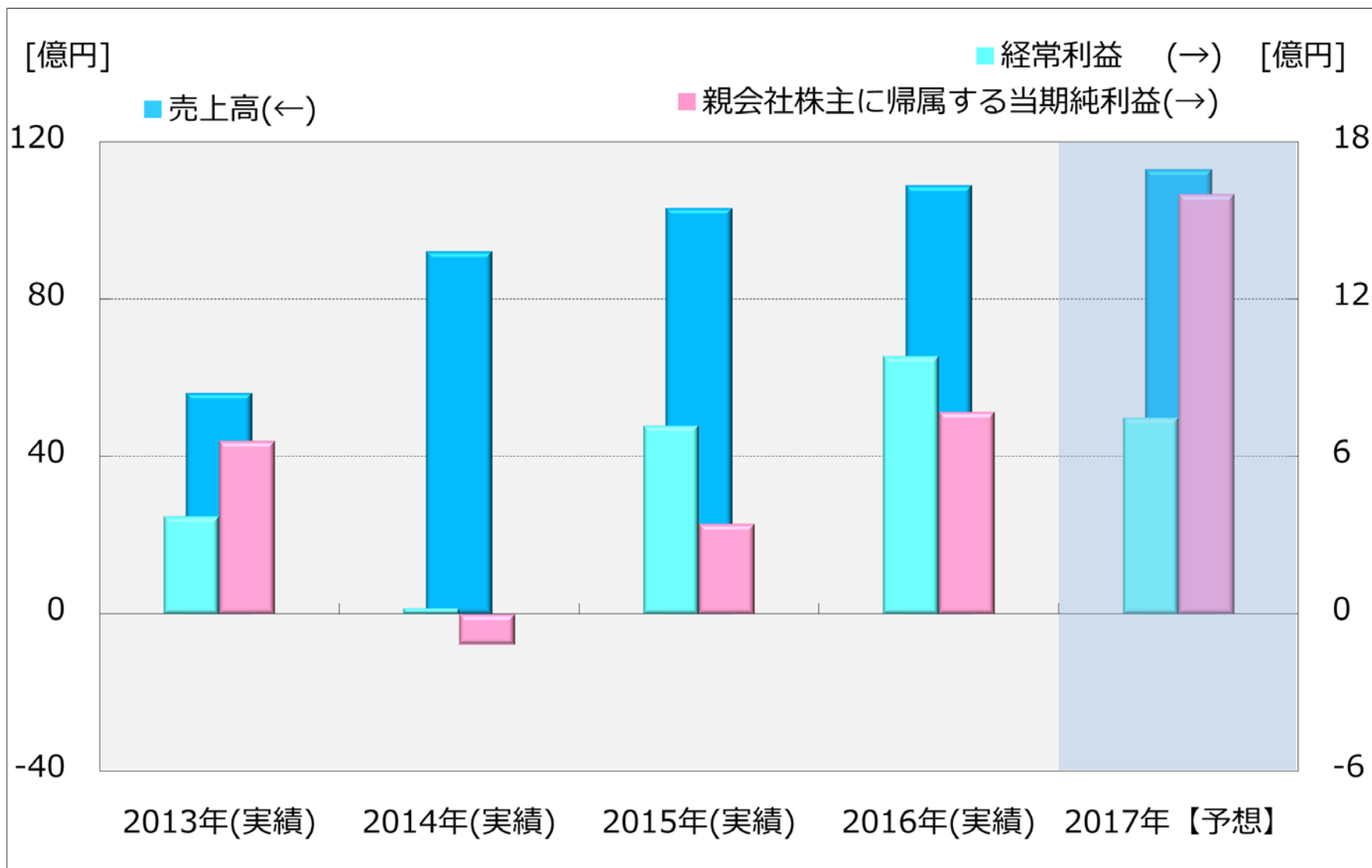
○連結業績の推移



○連結業績の推移

	2013年第2 四半期累計	2014年第2 四半期累計	2015年第2 四半期累計	2016年第2 四半期累計	2017年第2 四半期累計
売上高（百万円）	1,937	3,828	4,559	5,702	4,418
経常利益（百万円）	237	▲ 209	336	578	69
親会社株主に帰属する 四半期純利益（百万円）	143	▲ 186	207	495	1,162
純資産額（百万円）	7,866	8,758	8,722	9,149	10,461
総資産額（百万円）	9,734	12,947	12,817	12,102	16,670
1株当たり四半期純利益（円）	24.60	▲ 31.81	39.15	91.88	198.72
売上高経常利益率（%）	12.3	▲ 5.5	7.4	10.1	1.6

○連結業績予想



○決算説明資料について

本資料に記載されている業績予想等については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社グループが判断したものでありますが、今後の様々な要因の変化により、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することがあります。

従いまして、将来の業績等につきましては、実際の業績等とは異なる場合がありますのでご了承ください。

⑦ 株式会社小田原エンジニアリング